

学校教育目標

人間尊重の精神を基盤とし、共に生きる豊かな心とたくましい身体を持ち、自ら学ぶ意欲と確かな学力を身につけた人間性豊かな児童の育成
～やさしく かしこく たくましく～

めざす児童像

やさしく

互いに認め合い、支え合う子ども

かしこく

進んで学び、工夫する子ども

たくましく

粘り強く、たくましい子ども

本校研究主題

自分や友だちのもちあじを認め合い表現し合える豊かな人間関係づくり

《令和3年度 全国(6年)・県(5年)・市学力(3～4年)調査状況調査》による児童実態調査

- 国語科においては、漢字などの知識は平均を上回っているが、個人差が大きい。
 - 選択式問題については、無回答の割合は低い。
 - 国語科において条件付き作文となると、要素を満たしきれないものがあり、取組が不十分であったり、無回答などあきらめたりしている児童が見られる。
 - 読解力に受ける係り受け解析が弱く、指示語・主語などが曖昧な児童が多い。
 - 算数科においては、図形に関する問題に苦手意識がある。
- 《 錢座小学校児童の学びの実態及び課題 》
- 学校が好きな児童が多く、授業中教室の中での離席や外への飛び出しはない。
 - 積極的に発言しようとする児童は多いが、考えをうまくまとめられず、言いたいことが相手に伝わらないことがある。
 - 学力の二極化が見られ、家庭学習の習慣が充分についておらず、国語・算数ともに基礎・基本の定着に課題がある児童がいる
 - 学習規律の徹底を図っている。少しずつ定着してきており聞く姿勢が良くなってきている。

思考力・表現力・判断力の育成

主体的・対話的学びの推奨

- 「夢・憧れ・志」を共に育む
家庭・地域との連携
- ◎キャリアパスポートの作成
 - ・放課後子ども教室(地域)利用
 - ◎Society5.0へ向けて
 - ・プログラミング教育の充実
 - ・ICT教育の推進
 - ◎国際化社会への対応
 - ・外国語の学習の充実
 - ・ALT・E E Iとの交流(こころ医療専門学校との交流会)
 - ◎家庭との連携
 - ・学校便りや学級通信などでの啓発活動

基礎・基本の定着

基礎・基本の徹底

- ◎バリバリタイムの活用(漢字・計算)
- ・バリバリプリントの整備
- ◎家庭学習の習慣化

実態把握のためRSTを実施し考察を行う。

授業改善

- ◎あじさいスタンダード・長崎県読解力育成プラン参考
- ◎錢座小の学びのスタンダード
- ・学習規律の徹底

学習のきまり(低)	学習のきまり(高)
① 学習の準備をする。	① 学習の準備をする。
② 正しいしせいで すわる。	② 正しい姿勢で座る。
③ はじめと おわりのあいさつをきちんとする。	③ 開始終了あいさつを正しくする。
④ はっきり話して、しっかり聞く。	④ はっきり話して、しっかり聞く。
口を大きくあけて話す。しんげんに聞く。～そを向けて聞く。	はっきり話す。自分の考えとくらべながら聞く。
じゅんじょよく話す。相手の目を見て話す。	整理して話す。相手の目を見て聞く。
あいてを見て話す。おわりまで聞く。	相手の目を見て聞く。最後までしっかり聞く。
⑤ 反応する。	⑤ 反応する。

- ・「めあて」「まとめ」を明確にした授業
- 自己決定場面の保障
- ・構造的な板書(思考の流れが見える板書)
- ・ユニバーサルデザインを意識した授業及び学習環境作り
- ・ノート整理の指導(模範的整理の紹介)
- 学び合いの充実(ペア対話学習・グループ学習など)
- ※コロナ対策のため方法を工夫して行う。《クロームブック活用など》

- 言語活動・表現活動の充実
- ・ねらいに即した「書く活動」の充実
 - ・情報を収集・整理・分析・活用
 - ・考えたことや伝えたいことを書く。
 - ・表やグラフなどを用いて考えたり説明したりする。
 - ・観察や実験の結果を整理し考察する。

- 言語環境の整備・読書指導の充実
- ・語尾をしっかりとし、正しい言葉で話す。
 - ・掲示教育の推進
 - ・正しい日本語の指導
 - ◎主体的・計画的な図書館の利用
 - ◎読書タイムの充実
 - ◎音読・暗唱指導の推奨「百の詩」
 - ※コロナ対策のため工夫して行う。

- 発達課題に応じた教育支援体制
- ◎児童理解の時間の充実
 - ◎特別支援教育の充実
 - ◎個別教育支援計画・指導計画
 - ◎巡回相談、教育相談、カウンセリングなどの充実
 - ◎関連機関との連携
 - ◎計画的・組織的な教育支援体制の整備

- 連続した指導体制作り
- タテ・・・幼保小連携
 - 小・中連携
 - ヨコ・・・同一中学校区内連携

- 自己有用感・自己肯定感を高める指導
- ◎人権教育・道徳科教育の推進
 - ・自分・他者意識アンケートの実施、分析・考察
 - ・一言コメントやシール・スタンプなど称賛アイテムの充実
 - ・「すてきな心発見の木」「ありがとうの木」の掲示
 - ・C4thの活用
 - 「いいところ見つけ」情報交換

重点目標 本年度カラーテストの学級平均90点以上を目指す

学級経営

支持的風土の醸成により安心して学べる環境作り

- 「できた」「わかった」の笑顔があふれる授業
- 目標に向かって、協力して学び合う学級
- 支持的風土、優しい言葉で満たされた学級

子どもが成長する喜びを分かち合う職員室

- 生活指導の充実
- ◎「あ・は・は運動」の推進
 - ◎「あいさつ・へんじ・元気よく」
 - ・ワンストップあいさつの推進
 - ・リアクション(返事・応答)の推進
 - ・朝のあいさつ運動
 - ・いじめアンケートの実施(月1回)
 - ・メディア活用ルールの指導

本年度の重点目標(キーワード) わたしが主人公、一人ひとりが主人公

- 全職員が自校の課題を理解し、日々の授業改善につなぐ職員室
- ・児童理解の場などでの情報交換
 - ・教師の自己評価による教師力UP
 - ・教材室・教材・教具の整理整頓

- 研修の機会を学校の内外に求め、学び続ける職員室
- ・校内研究の充実
 - ・中学校区内小学校の研究会への参加
 - ・市・県の研究発表会への参加

- 学年・教科・世代を超えて語り合う職員室
- ・若手教員育成のための研修
 - ・作成教材の共有・蓄積(働き方改革)
 - ・あじさいBOXなど市・県教材の活用